

令和 7 年度

第 1 回山鹿市地域公共交通活性化協議会 議事録（要旨）

令和 7 年 5 月 2 0 日作成

山鹿市地域公共交通活性化協議会 会長 柿本 竜治

【 日 時 】 令和7年5月13日（火）15時00分～15時50分

【 場 所 】 山鹿市役所4階 401会議室

【 出 席 者 】 21名 (敬称略)

区分	団体・役職	氏 名
会 長	熊本大学（くまもと水循環・減災研究教育センター長）教授	柿本 竜治
副会長	山鹿地域区長協議会 会長	徳永 龍二
委 員	鹿北地域区長協議会 会長	川崎 美明
委 員	菊鹿地域区長協議会 会長	青木 精一郎
委 員	鹿央地域区長協議会 会長	丸山 茂樹
委 員	山鹿市老人クラブ連合会 会長	阿蘇品 欣友
委 員	山鹿市地域婦人会連絡協議会 会長	松尾 和子
委 員	一般社団法人熊本県バス協会 専務理事	佐々木 庸敏
委 員	九州産交バス（株）営業本部 営業部長	岩永 謙二
委 員	産交バス（株）営業企画課長	佐藤 正直
委 員	（一社）熊本県タクシー協会 専務理事	吉田 光義
委 員	山鹿市タクシー業者会 会長	宮崎 一雄
委 員	全九州産業交通労働組合 副執行委員長	貢 博之
委 員	九州運輸局熊本運輸支局 首席運輸企画専門官	椎葉 幸博
委 員	九州運輸局熊本運輸支局 首席運輸企画専門官	平野 光祐
委 員	熊本河川国道事務所山鹿維持出張所 所長	池田 幸司
委 員	熊本県 鹿本地域振興局土木部 維持管理調整課長	大塚 保邦
委 員	山鹿市 建設部 建設課長	淵上 邦広
委 員	山鹿警察署 地域交通課長	鍋田 雄仁
委 員	山鹿市 市民部長	小山 天
委 員	熊本県 交通政策課 課長補佐	松田 英生 (代理出席：小林理久)

【 欠 席 者 】 1名 (敬称略)

区分	団体・役職	氏 名
委 員	鹿本地域区長協議会 会長	八浪 隆秀

【 事 務 局 】	市民部	政策審議員	園田 和雄
	地域生活課	課長	飽本 勝徳
	地域生活課	課長補佐	木下 和彦
	地域生活課	活動支援係長	古井 フミ子
	地域生活課	主任	竹下 智揮
	地域生活課	主事	鹿子木 一心

【 議 題 】

◆報告事項

- | | |
|---------------------|-------------|
| 1. 山鹿市の公共交通の現状について | 【 資料：報告 1 】 |
| 2. 令和 6 年度の取り組みについて | 【 資料：報告 2 】 |
| 3. 運賃協議分科会の設置について | 【 資料：報告 3 】 |

◆協議事項

- | | |
|----------------------------|-------------|
| 1. 山鹿市地域公共交通計画の数値指標の評価について | 【 資料：議題 1 】 |
| 2. 山鹿市あいのりタクシーの乗降場見直しについて | 【 資料：議題 2 】 |

【 公 開 状 況 】 公 開

【 傍 聴 者 数 】 な し

【 所 管 課 】 地域生活課 活動支援係 (直通：43－1114)

【 発 言 要 旨 】

◆報告事項

※報告 1～3 は一括報告

1. 山鹿市の公共交通の現状について

＜事務局説明概要＞ 資料：報告 1 に沿って説明

山鹿市の公共交通の現状及び運行実績について説明した。

2. 令和 6 年度の取り組みについて

＜事務局説明概要＞ 資料：報告 2 に沿って説明

あいのりタクシー予約配車システムの導入及び山鹿市・和水町定住自立圏広域公共交通マップの作成について説明した。

3. 運賃協議分科会の設置について

＜事務局説明概要＞ 資料：報告 3 に沿って説明

道路運送法改正に伴う運賃協議分科会の設置について説明した。

＜発言要旨＞

委 員：路線バス運行に係る費用の一部を補助する補助額の補助率や計算式についてお聞きしたい。

委 員：路線バスについてはバス事業者が直接国・県・市に申請を行う。国庫補助路線は山鹿市から菊池市を経由し大津駅へ向かう 1 路線。市の補助額については、国・県補助を除いた赤字分を該当市町村の路線キロ数で按分し算出している。

＜協議結果＞

委員一同、異議なし

◆協議事項

1. 山鹿市地域公共交通計画の数値指標の評価について

＜事務局説明概要＞ 資料：議題 1 に沿って説明

山鹿市地域公共交通計画の数値指標の令和 6 年度実績に係る評価について説明した。

＜発言要旨＞

委 員：70 歳以上の高齢者の地域公共交通利用率の計画策定時の算出根拠は？

事務局：市民アンケート結果を基に算出している。

＜協議結果＞

委員一同、異議なし（承認）

2. 山鹿市あいのりタクシーの乗降場見直しについて

＜事務局説明概要＞ 資料：議題 2 に沿って説明

利用者の声や事業所、運行業者からの意見を基にした山鹿市あいのりタクシーの乗降場見直しについて説明した。

＜発言要旨＞

委 員：鹿央地域にある高速バス停留所への乗降場設置は検討されているか。

事務局：現在要望等はないが、今後検討したい。

委 員：あいのりタクシーに盲導犬も同乗できるか。

委 員：一般タクシー同様、個別輸送であれば可能であるが、乗り合いになると、他の乗客との兼ね合いもでてくる。

事務局：他の乗客との兼ね合いを考慮し、福祉タクシーの利用をお願いしたい。

委員：乗降場見直し後の運行開始時期の目途を教えてください。

事務局：周知期間等を考慮し、令和7年8月1日には運行を開始したい。

<協議結果>

委員一同、異議なし（承認）